むくのきだより 4月号

令和５年４月７日　　　港区立赤羽幼稚園　園長　中村　美奈子

新しい園舎で子供を育む

園長　中村　美奈子

お子様のご入園・ご進級、おめでとうございます。

令和５年度の赤羽幼稚園は、赤羽小学校新校舎1階に設置された仮園舎でスタートしました。令和8年の夏には、旧赤羽小学校の講堂のあたりに、新園舎が建設され、3年保育となります。新園舎ができるまでの3年半の間も充実した保育ができるように、仮園舎ではありますが、旧園舎より設備が整っています。保育室・遊戯室に加え、3歳児保育の開始を見据えて「みんなのへや」があります。未就園児の会「ひよこっこ」もそこで行う予定です。幼稚園と同じ1階にある講堂は、入園式の他、様々な行事で活用していきます。また、園庭は明るい南側にあり、これまで以上にいろいろな野菜や花を育てられそうです。

設備が整っただけでは、保育は始められません。新年度、子供たちを迎えるため春季休業期間中、急ピッチで遊具や保育で使用する物等の移転作業、掲示や園庭整備などの環境作りを行いました。保護者の皆様や地域の皆様にもお手伝いいただき、皆様に愛されている幼稚園であることを改めて感じました。ありがとうございました。

赤羽幼稚園の教育目標は、次の3つです。

〇「やさしい子」……人や自然を愛し、豊かな心をもつ子

〇「かんがえる子」…進んで考え、創意工夫する子

〇「げんきな子」……心も体も健康な、元気な子

これまで、新型コロナウイルス感染症対策のため制限することが多かった保育も、今年度からは通常の衛生対策・指導をしながらの保育に戻り、いろいろな試みができそうです。子供たちが生活や遊びの中で、「不思議だな」「面白いな」「やってみたいな」と芽生えた思いを大切にし、主体的な活動につながるように教職員が工夫していきます。幼稚園教育要領にも「幼児の自発的な活動としての遊びは、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習である」とあります。遊びには、夢中になって試行錯誤する姿、自分の思いを言葉で伝えようとする姿、友達と楽しい思いや悲しい思いを共感する姿、友達と折り合いを付けながらルールを作ったり守ったりする姿など、様々な姿が見られます。これらの機を捉え、教職員が学びにつなげます。

幼児期の子供の健やかな成長のためには、幼稚園と家庭との連携も重要です。昨年度よりもさらに連携を深め、教育活動に活かしたいと考えています。また、幼児期に様々な人と、温かな関わりをもつことが社会性を育むために大切なことから、地域の皆様のお力添えをいただけたら幸いです。保護者の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。